

(様式3)

令和4年度 動物実験等に関する報告

水産資源研究所

項 目	報 告 内 容
1 動物実験等の実施状況	
(1) 実施件数	当該年度の実験件数の合計 0 件
(2) 使用動物種	当該年度の実験に使用した全動物種名
(3) 関係研究課題数	当該年度の全実験課題数 0 課題
(4) 実験課題	
2 点検・評価結果	
(1) 所内規程の制定	水産資源研究所動物実験委員会規則 改正 令和5年3月9日付け4水機資第566号 水産資源研究所動物実験に関する指針 改正 令和5年1月16日付け4水機資第489号 水産資源研究所魚類取扱指針 廃止 令和5年1月16日付け4水機資第489号
(2) 動物実験委員会の設置状況・構成	構成 委員長：企画調整部門長 委員：業務推進課（事務局）、水産資源研究センター長有識者として鈴木敏之（技術研環境・応用部門長）。横浜庁舎から4名、釧路拠点から2名、札幌拠点から2名、新潟拠点から1名、長崎庁舎から1名を選出。 開催実績：令和4年5月17日
(3) 動物実験等の実施状況	
(4) 教育訓練等の実施	農林水産省農林水産技術会議主催動物実験に係る勉強会第2回（令和4年4月26日開催）に資源研動物実験委員会より2名が参加し、科学的観点と動物愛護の観点を両立させ、その適正な実施のための訓練を受けた。
(5) 実験動物の飼養等	
(6) 緊急時の対応	

(7) 総合評価	水産研究・教育機構及び水産資源研究所の関連規程に適合しており、特段の問題はない。